N E C

Express5800シリーズ ESMPRO®/AC Enterprise Ver3.6

UL1046-602

セットアップカード

UL1046-602 856-126942-002-A このたびは ESMPRO/AC Enterprise Ver3.6をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項を中 心に構成されています。 ESMPRO/AC Enterprise Ver3.6をお使いになる前に、必ずお読み 下さい。

Windows Vista[™]、Windows Server®2003、Windows® 2000、Windows NT®、Microsoft® は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。 ESMPRO®は日本電気株式会社の登録商標です。 CLUSTERPRO[™]は日本電気株式会社の商標です。 PowerChute® は American Power Conversion Corporationの登録商標です。

目次

第1章	製品內容	4
第2章	セットアップの準備	5
2. 1	ESMPRO/AC Enterprise のセットアップ環境	5
第3章	セットアップの方法	7
3. 1	ESMPRO/AC Enterprise のインストール	
3. 2	多機能 UPS WEB 機能の環境設定	9
3. 3	SNMP カードの設定	
3. 4	AMC機能 : マルチサーバ構成時の環境設定	
3. 5	AMC機能:冗長電源構成時の環境設定	
3. 6	AMC機能:クラスタ(マルチサーバ)構成時の環境設定	
3. 7	ESMPRO/AC Enterprise のアンインストール	
3.8	ESMPRO/AC Enterprise Client マルチサーバ構成データ編集機能	
第4章	注意事項	61
4. 1	セットアップ関連	61
4. 2	AMC機能関連	61
4. 3	多機能 UPS WEB 機能関連	64

第1章 製品内容

ESMPRO/AC Enterprise Ver3.6のパッケージの内容は、次の通りです。 まず、添付品が全部そろっているかどうか、確認して下さい。

• KeyFD

1枚

- ・ソフトウェアのご使用条件
- ・セットアップカード

第2章 セットアップの準備

ESMPRO/AC Enterprise をご使用になるためには、既に ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.6 以上のいずれかのセットアップが行ってあるサーバに、ESMPRO/AC Enterprise のセット アップをしていただく必要があります。

セットアップとは、Express Server Startup CD-ROM 媒体にある ESMPRO/AC Enterprise のプロ グラムを、実行できる形式にして固定ディスクにコピーすることです。セットアップの方法は、 第3章で詳しく説明しています。

2. 1 ESMPRO/AC Enterpriseのセットアップ環境

ESMPRO/AC Enterpriseをセットアップするためには、次の環境が必要です。

① ハードウェア

<サーバ>

- 対象機種: Express5800シリーズ
- ・メモリ: 2. 5MB以上

(ESMPRO/AutomaticRunningControllerと合計すると5.5MB以上)

- ・固定ディスクの空き容量 : 12.0MB以上
 - (ESMPRO/AutomaticRunningControllerと合計すると18. 0MB以上)
- <UPS>

Smart-UPS相当無停電電源装置を使用してUPSをLANで制御する場合、SNMPカードが必要です。

② ソフトウェア

<サーバ>

- Microsoft Windows NT 4.0 Server/Workstation
- Windows 2000 Advanced Server/Server/Professional
- Windows XP Professional
- Windows Server 2003
- Windows Server 2003 R2
- Windows Vista Business
- ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.6

*AMC(AC Management Console)機能に関して

- Smart-UPS相当無停電電源装置にSNMPカードを使用して、AMC(AC Management Console)機能によるマルチサーバ構成を構築する場合、ネットワークプロトコ ルにSNMPがインストールされている必要があります。
- ・マルチサーバ構成で管理される被管理サーバには、ESMPRO/AC Enterprise マル チサーバオプションがセットアップされている必要があります。
- *クラスタ構成に関して

*多機能UPS WEB機能に関して

多機能UPSを使用してWEB機能を使用する際は、

- Microsoft WindowsNT 4.0
- Windows 2000 Advanced Server/Server/Professional
- ・Microsoft InternetInformationServer Ver2.0以降

クラスタを構成するすべてのサーバにESMPRO/AutomaticRunningControllerおよ びESMPRO/AC Enterpriseがセットアップされている必要があります。

・ESMPRO/UPSController がセットアップされていることが必須条件になります。

最新の動作環境については、下記サイトでご確認ください。 ESMPRO/AutomaticRunningController (http://www.ace.comp.nec.co.jp/AC/)

第3章 セットアップの方法

3. 1 ESMPRO/AC Enterprise のインストール

- (1) ラベルに『Express Server Startup CD-ROM Express5800/100シリーズ用#1(1/2)』と書 かれてあるCD-ROM媒体をCD-ROMドライブに挿入します。
- (2) Express Server Startupを起動します。
 (起動手順については次のセットアップカードを参照して下さい)
 Express5800シリーズ
 Express Server Startup
- (3) 「 ESMPRO/AC Enterprise 」セットアップまでの手順
 - ① 一括インストールの場合:

[Express Server Startup]から、【インストール】-【一括インストール】を選択すると 次のダイアログボックスが表示されます。

一括インストール	×
インストールするソフトウェアを選択して下さい	
製品名	
DBリンクキット for SQL Server	
ESMPRU/AU Advance	
ESMPRO/AC Enterprise	
バージョン/ユーザセット数(UL型番)	
バージョン3.6 1セット(UL1046-402)	
バージョン3.6 Iセット(ULIU46-502) バージョン3.6 Iセット(ULIU46-602)	
	OK
インフトールするソフトウェア	
	ancel

- a) 「製品名」一覧から、「 ESMPRO/AC Enterprise 」を選択します。
- b) a) で選択した「製品名」のバージョン/ユーザセット数が表示されます。「バージョン 3.6 1セット(UL1046-602)」を選択して下さい。
- c) b)の選択が終わりますと、「インストールするソフトウェア」に「 ESMPRO/AC Enterpriseバージョン3.6

(UL1046-602)」が表示されます。

ソフトウェアの選択が完了しましたら、「OK」ボタンを選んで下さい。

以降、インストール先ドライブ名(ESMPRO/AutomaticRunningControllerのインストールして あるドライブ名)、KeyFDをセットするドライブ名、氏名/会社名の入力をしてください。 (詳細については次のセットアップカードを参照して下さい)

・Express5800シリーズ

Express Server Startup

UL1046-602 856-126942-002-A すべての設定が完了すると、「ソフトウェア名 ESMPRO/AC Enterprise Ver3.6のKeyFDをドライ ブ X: にセットして下さい」と表示されます。

KeyFDをドライブ X:にセットして「OK」ボタンを選んで下さい。

「セットアップ準備中です...」というメッセージが表示され、セットアップを開始します。

② 個別インストールの場合:

[Express Server Startup]から、【インストール】-【個別インストール】を選択すると、 KeyFDをセットしたドライブ名の入力要求がありますので、KeyFDをセットしたドライブ名を入 力し、「OK」ボタンを選んで下さい。

「セットアップ準備中です...」というメッセージが表示され、セットアップを開始します。

- (4-1) 「ESMPRO/AC Enterprise 」のセットアップ
 - ① ESMPRO/AC Enterpriseのセットアップダイアログボックスが表示されます。
 - ② 「続行」ボタンを選びます。
 - 「インストール中です」というメッセージが表示されます。
 - ダイアログボックスが画面から消えましたら、セットアップの終了です。

注意

ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.6がセットアップされていない場合は、 セットアップを一度終了して、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.6のセッ トアップを行った後、再度本セットアップを実行して下さい。

- (4-2) 「ESMPRO/AC Enterprise 」のバージョンアップセットアップ
 - ※個別インストールでのバージョンアップを推奨致します。下記は個別インストールで のバージョンアップ方法です。
 - ①(4-1)の②の後に、サーバにセットアップされている以前のバージョンを表示したダイア ログボックスが表示されます。
 - ②マイナーバージョンアップの場合、「続行」ボタンを選択します。この場合、データを 引き継いだ上書きインストールが実行され、(4-1)③に続きます。
 - ③メジャーバージョンアップの場合は、旧バージョンのKEY-FDが無効になってもよいか尋ねるダイアログボックスが表示されますので、すでに、旧バージョンのKEY-FDを返却している場合は、「はい」を選びます。この場合、データを引き継いだ上書きインストールが実行され、(4-1)③に続きます。

④旧バージョンのKEY-FDがある場合には、「いいえ」を選択します。

- ⑤以前のバージョンの製品名と、アンインストールを指示するダイアログボックスが表示 されますので、「OK」を選択します。
- ⑥「インストールを中断しました」のダイアログボックスが表示されますので、「OK」を 選択し、一度セットアップを終了します。
- ⑦⑤で指示されたアンインストールを実行してください。
- ⑧もう一度(3)からセットアップを実行します。この場合、旧バージョンの設定情報の引継は行えませんのでご注意ください。

- (5)「ESMPRO/AC Enterprise」セットアップの終了状態表示 セットアップが終了すると次のダイアログボックスが表示されます。
 - ① 一括インストールの場合:

一括インストール	×
インストール結果	
_ 正常終了したソフトウェア一覧	
0000 : ESMPRO/AC Enterprise バージョン3.6 (UL1046-602)	
OK	

② 個別インストールの場合:

個別インストール	×
インストール結果	
正常終了したソフトウェア一覧	
0000 : ESMPRO/AC Enterprise バージョン3.6 (UL1046-602)	
_ 異常終了したソフトウェア一覧	
OK	

注意

セットアップの実行中に<終了>及び<キャンセル>ボタンを選ぶと、セットアップを中止する かどうかをたずねるメッセージが表示されます。そのメッセージボックスで、<0K>ボタ ンを選ぶと、セットアップを中止できます。その場合、途中までセットアップされたファ イルの削除は行われません。

3. 2 多機能 UPS WEB 機能の環境設定

ESMPRO/UPSController と連携して多機能UPSを使用している環境の場合、WEB機能を利用 することができます。この機能では、一般のサーバ及びクライアントのWEBブラウザ画面 からアクセスすると、サーバのESMPRO/AutomaticRunningControllerの自動電源制御状態 と、サーバ管理者の設定した情報を表示確認することができようになります。また、サ

UL1046-602 856-126942-002-A ーバ管理者であれば、表示の他に通知情報の設定や、一部の自動運転設定の変更が行え ます。

この機能を使用するためには、IISに対して環境を設定する必要があります。以下に その手順を記述します。

- I I S に対する環境設定
 - ① ESMPRO/AutomaticRunningControllerグループの環境設定アイコンを起動します。
 - ②「接続用エイリアス名」エディットボックスにESMPRO/AC EnterpriseのWEB機能 を使用する際の接続用エイリアス名を入力します。エイリアス名とは、WEBブラウ ザからアクセスする際に使用する名称であり、通常は「esmproac」を使用するこ とをお勧めします。
 - ③「パスワード」エディットボックスにパスワードを入力します。(ここで入力する パスワードは、「サーバー管理者メニュー」に接続する時に要求されるものです。 パスワードは、設定しなくてもかまいません)
 - ④「設定」ボタンを選択します。
 - ⑤ 「閉じる」ボタンを選択して、メニューを終了します。
 - ⑥ システムを再起動して下さい。

以上でWEB機能環境設定は終了です。

ESMPRO/AC Enterpriseへの接続は、ブラウザ画面から接続先URL名を以下のように指定します。

http://サーバのIPアドレス/エイリアス名

(接続指定例)

IPアドレス100.150.200.250のサーバにESMPRO/AC Enterpriseをインストールし、 「接続先エイリアス名」に"esmproac"と設定した場合、WEBブラウザから 、

http://100.150.200.250/esmproac

と指定することで使用する事ができます。

3. 3 SNMP カードの設定

AMC機能(マルチサーバ・冗長電源環境の管理機能)を使用するクラスタシステムの制御においては、Smart-UPS相当無停電電源装置 に SNMPカード を実装し制御する必要があります。

以下に、このSNMPカードのHW設定、及び、WEBによる設定手順を記載します。

(1) SNMPカード関連のHW設定

全ての装置を停止し、UPSとの接続を行います。

UPSの電源を入れ、SNMPカード添付のケーブルを使用して、SNMPカードの使用するIP addressなどのネットワーク設定を行います。

ネットワーク設定の正常性をPingで確認後、Webを使用してより詳細な設定を行います。

冬ac - ハイパーターミナル フーイル(C) (毎年(C) まーのの)通信	=/∩) ==:¥/T) = u =?/U)	_[]	×
	E (2) ≇&/≥(1) / (1)		_
	? ×	? ×	4
 名前を入力し、アイコンを選んでくだ 名前(1): 	 ac 電話番号の情報を入力してください: 	COM1のプロパティ ?	×
³⁰ アイコンΦ: 	国/地域番号(Q): 日本 (81) 長距離の接頭番号なしで市外局番を入力してくださ 市外局番(E): 078	ポートの設定	
	電話番号(犯): 接続方法(犯): COM1	ビット/秒(B): 2400 💌 データビット(D): 8	
	「構成(生)	パリティ(P): なし ストップ ビット(S): 1	
	□ 1通時中/約9/24 2/12 90/12 ■ 0K	70-制御(E): なし 💌	
1	自動検出 SCROLL CAPS NU	 *ャンセル 道用(<u>A</u>)	

HW添付されているシリアルケーブルを使用して、UPSとサーバ(COMポート)を接続し、上記の様な ハイパーターミナル*1を起動すると、UPSの初期設定が行えるようになります。 (詳細は、HW添付のマニュアルを参照してください。)

* Windows Vistaでは、ハイパーターミナルがサポートされていません。ハイパーターミナ ルによる設定を行う場合は、Windows Vista以外のWindows OSで実施してください。 User Name、password (初期値はどちらも apc) を入力してloginします。[2 - NetWork]->[1 - TCP/IP]->[1 - Boot Mode]を[4 - Manual]に変更し、UPSのIP address、Network Mask、Default GateWayを設定します。全て入力した後、<ESC> を押下し「Control Console」に移動し、[4 - Logout]を選択することで、UPSがLANでアクセス可能になります。



◆注意◆ シリアルケーブルは、設定が終わりましたら外して保管しておいてください。

(2)Webによる設定

シリアルケーブルとハイパーターミナルによるIP設定を終了し、logoutすると、設定したネットワーク構成が有効になります。

設定が正常であれば、サーバからUPSのIPアドレスにInternet Explorer等でアクセスすると以下の様なログイン画面が表示されます。

172.16.1.122 に接続	? ×
	G.S.
APC Management Card	
ユーザー名(山):	1
バスワード(<u>P</u>):	
	□ パスワードを記憶する(<u>R</u>)
	OK キャンセル

この画面で、ハイパーターミナル同様にログインすると、以下の様なWeb画面になります。



「System」→「Date & Time」と選択すると以下の画面になります。 現在の日付と時刻の設定を行ってください。

◆日付と時刻の設定方法

下記①②のどちらかの設定方法で、日付と時刻を設定してください。

①日付、時刻を直接入力する方法

「Set Manually」を選択し、「Date」、「Time」を入力後、「Apply」を選択してください。 ②コンピュータから日付と時刻を読み出し設定する方法

「Set Manually」を選択し、「Apply Local Computer Time to Network Management Card」にチェックし、「Apply」を選択してください。



「Network」→「SNMP」と選択すると以下の画面になります。 「Access Control」と「Trap Receiver」に登録を行ってください。



Community Name	:SNMPで使用する識別名(通常は public)
NMS IP	:SNMPでアクセスするサーバのIP address。
	管理端末用UPS、周辺装置用UPS は、管理端末の IP addressのみでOK。
	クラスタサーバ用UPS は、管理端末 と 接続しているサーバのIP address
Access Type	:「Write+」または「Write」を選択する。
	「Write+」が選択肢に表示される場合は、「Write+」を選択する。

<u>注意:</u>

サーバが複数のLANボードがある場合や、複数のIPアドレスを持つ場合には、SNMPカードに対しア クセスする際に使用されるIPアドレスを登録してください。

サーバが複数のIPを持っている場合に、後述のAMC画面での設定で、UPS情報がSNMPにて採取でき ない時には、SNMPカードに登録したサーバのIPアドレス以外が実際には使われている可能性があ ります。SNMP カードに登録するIPアドレスをサーバの持つ別のIPアドレスに変更するなどして、 実際に使用されているIPアドレスを登録してください。(登録数に問題なければ、同一サーバの IPを複数登録しても構いません)

🔮 APC Network Management Card – Microsoft Internet Explorer 📃 🗖 🗙						
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルブ(H) 📲 📲						
S 戻る ▼ ● ▼ N 2 6 2 検索 ☆お気に入り ④ ◎ ▼ → □						
アドレス(D) 🕘 http://172.16.1.122/a	rakfram.htm?6:2				🔽 ラ 移動	
	▲					
Network	Event Recipient	s				
Management	Trap Receiver:	s				
Card	Community	Receiver NM	S IP/Domai	n Concration	Authentication	
IP: 172.16.1.122	Name	Name		Generation	Traps	
	public	172.16.1.17		Enabled 💌	Enabled 💌	
Smart-UPS 3000 RM	public	0.0.0		Enabled	Enabled	
Events	public	0.0.0.0		Enabled 💌	Enabled 💌	
Log	public	0.0.0.0		Enabled 💌	Enabled 💌	
Actions	Apply Cancel					
Recipients						
🕨 Data	Email Recipier	nts				
Network	To Address		SMTP	Generatio	nFormat	
System Logout	address@mycomp	any com	Server	Disabled		
	address@mycomp	any.com	Local		Long	
▶ Help	addresse mycompo	any.com	Local		Long T	
	addresse myco mpo	any.com	Loosi		Long T	
Links	addressemycompa	any.com	Local		LOUR T	
APC's Web Site	http://www.cander				•	
巻] ページが表示されました					🕗 信頼済みサイト 👘 🏑	

Community Name、Receiver NMS IPは、「Access Control」と同じものを設定する。 Trap Generation、Authentication Traps は、「Enabled」を選択する。

「System」→「User Manager」を選択すると、以下の画面になります。

🚰 APC Network Management	Card – Microsoft Internet Explorer				
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻)	an a				
🔾 戻る 🔹 🕑 🕐 🖻 🔥 🖉 検索 🧙 お気に入り 😵 メディア 🤣 😥 😓					
アドレス(D) 🥘 http://172.16.1.122	/arakfram.htm?4:0	Ref 100 Participation (100 Participation)			
^{Network} Management _{Card}	WWW.apc.com	System			
IP: 172.16.1.122	User Manager				
Smart-UPS 3000 RM	User Access Auto Logout:	10 minute(s)			
▶ Events ▶ Data	Authentication Type: Apply Cancel	Basic 💌			
Network					
▼ System	Administrator				
User Manager Identification	User Name:	арс			
Date & Time	Password:	•••			
Tools	Authentication Phrase:	<hidden auth.="" phrase=""></hidden>			
Preferences	Apply Cancel				
Links					
Logout	Device Manager				
Holp	Access:	Enabled 💌			
	User Name:	device			
Links	Password:	•••			
APC's Web Site	Authentication Phrase:	≺hidden auth. phrase>			
Testdrive Demo	Apply Cancel				
APC Monitoring					
	Read Only User				
	Access:	Enabled 💌			
	User Name:	readonly			
	Password:	•••			
, @					

セキュリティの為、デフォルトで使用しているアカウント:apc等の設定を変更しておく事を お勧めします。

注意:変更したアカウント名・パスワードは忘れない様にしてください。

(忘れた場合には、メーカに問い合わせすることになります)

3. 4 AMC機能:マルチサーバ構成時の環境設定

ESMPRO/AC Enterprise では、AMC: AC Management Console機能によるマルチサーバ構成における自動電源運転制御をサポートしています。 この機能を使用する場合、予め「3.3 SNMPカードの設定」を行っておく必要があります。

【環境アイコンでの設定】

 ESMPRO/AutomaticRunningControllerグループの環境設定アイコンを起動すると、 下記ダイアログボックスが表示されます。

🚰 ESMPRO/AC Enterprise環境設定	
₩EB機能	「SNMP機能
環境 接続用エイリアス名 n°スワート [*] タイムアウト時間 5 ÷ 分 設定 フ [*] 50サ [*] からのアクセス管理 フ [*] 50サ [*] からのアクセス強制解除	 SNMP機能による、クラスタの自動 運転を行う 基本設定 基本設定 詳細状態表示設定 If AC Management Consols による管理を行う 他のUPS管理ソフトを使用しない 設定支援機能でツリーを作成 AC Management Consols AC Management Consols AC Management Consols AC Management Consols

- (2) ESMPRO/AC Enterprise環境設定ダイアログボックス内のSNMP機能の『[AC Management Console]による管理を行う』のチェックボックスをONにします。
- (3) 『他のUPS管理ソフトを使用しない』チェックボックスを ONにします。

 (4) ESMPRO/AC Enterprise環境設定ダイアログボックス内の 『設定支援機能でツリー を作成』 を実行すると [AC Management Console 簡易設定支援 -ESMPRO/AC Enterprise]が起動されます。

Gr AC Management Console 簡易設定支援 - ESMPRO/AC Enterprise	- 🗆 🗵
マルチサーバ構成 「 「 「	•
設定を行いたい構成の【構成表示】ボタンを押すと	
構成情報が表示されます。	
•	• •

この[AC Management Console 簡易設定支援]では、マルチサーバ構成の基礎部分の 設定を行います。後で説明する「AC Management Console」のみで設定は可能ですが、 この[AC Management Console 簡易設定支援]にて、基礎部分の設定をする事をお勧 めします。

注意

- ・マルチサーバ構成で設定できるサーバ台数は、8台(その内、制御用サーバに設 定可能な台数は、3台)。UPS は、1台、2台の選択ができます。
- ・9台以上のサーバを設定する場合は、次に説明する[AC Management Console]にて 設定して下さい。
- ・設定ファイル作成中に登録するサーバ名は、コンピュータ名を設定して下さい。 また、Windowsサーバの場合は大文字で、Linuxサーバの場合は大文字、小文字を区 別してコンピュータ名を入力して下さい。

サーバ2台、UPSを1台で、マルチサーバ構成を行う場合には、以下の様に登録します。

(4-1) マルチサーバ構成に接続するUPS台数とそのグループ名を入力します。 グループ名は、UPS台数と同数分、入力します。

マルチサーバ設定 構成設定	x
マルチサーバ構成で使用するUPSの台数を設定して下さい。また、使用するUPS の台 <u>数に応じた(1台の</u> 場合は、グループ1、2台の場合は、グループ1と2の)グルー	
フ治の設定を行って下さい。	
- UPS台数	
C 2台	
· グループ名	
グループ1	
<i>ヴルー</i> プ2	
	-
〈戻る(日) 次へ(N) > キャンセル	

(4-2) UPS名とそのUPSに挿しているSNMPカードに設定したIPアドレスを入力します。

マルチサーバ設定 UPS設定1	×
マルチサーバに電源を供給する1台目のUPS名と IPアー て下さい。	☆レスを設定し
UPS名(最大で8文字までが有効です)	
LUPS 001	
[
IPアドレス	
172 16 1 222	
	〈戻る(日) 次へ(11) > キャンセル

 (4-3)サーバ名と、そのサーバのそれぞれのIPアドレスを入力します。
 制御端末にするサーバには、制御のチェックボックスにチェックをし、Linux サーバには、Linuxのチェックボックスにチェックをします。

マル	チサーバ設定 サール	"設定1							×
	マルチサーバ環境 い。なおサーバ名 注意:UPSの台数 Windowsサ	を構成する1 は15文字まで に関係なく合	台目のU 有効で 計8台グ (大文字	JP S(ご す。 このサー 、Linux	接続す バを登 サーバ	るサー/ 録できま の時(は)	「名、IPアドレ ます。 大文字、小3	えを台数分、入力し に字を区別して	バ下さ
	∧///// ト サ−バ1:	さい。 サーバ名 IPアドレス	549-00	26781 16	1	19	▶ 制御	🗖 Linux	
	サーバ2:	サーバ名 IPアドレス	TMGI9 172	5H 16	1	18	□ 制御	🗖 Linux	
	サーバ3:	サーバ名 IPアドレス					□ 制御	🗖 Linux	
	サーバ4:	サーバ名 IPアドレス						🗖 Linux	
	サーバ5:	サーバ名 IPアドレス						🔲 Linux	
	サーバ6:	サーバ名 IPアドレス						🔲 Linux	
	サーバフ:	サーバ名 IPアドレス						🗖 Linux	
	サーバ8:	サーバ名 IPアドレス						🗖 Linux	
_			1						
						〈戻	€3(<u>B</u>)	次へ(№) >	キャンセル

(4-4) 設定後、以下の様な構成になります。

<mark>除</mark> AC Management Console ファイル(E) へルフ ^o (H)	。簡易設定支援 - ESMPRO	D/AC Enterprise					
マルチサーバ構成		冗長電源構成		ラスタ(マルチサーバ)構成 -			<u> </u>
設定ファイル作成	構成表示	設定ファイル作成	構成表示	設定ファイル作成	構成表示		
, 【マルチサーバ電	源構成】						
1 台のUPS装直 C·	複数のサーハの竜》 マルチサーバ精	泉川共紀でイエルます。 新成	UP	S1 S 0001			
	NUU / 11#	1124		<u>.</u>			
			î	-			
			172	16 1 999			
Server1	Server2	Server3	Server4	Server5	Serveró	Server7	Server8
549-006781	TMGI95 H						
172.16.1.19							
	172.16.1.18		UP	S2			
			-				
グループ2:							

(5) [AC Management Console 簡易設定支援]にてマルチサーバ構成の設定を行った、あるいは、ESMPRO/AC Enterprise環境設定ダイアログボックス内の『AC Management Console起動』を起動すると、以下の様な画面が表示されます。



[AC Management Console 簡易設定支援]にて、マルチサーバ構成の設定ファイル作 成を行った場合は、設定した情報が反映されているか確認して下さい。 また、サーバやUPSを追加する、登録情報を設定、変更する場合は、ここで行い ます。 ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション をインストールしたマシンを「連

ESMPRO/AC Enterprise マルナサーバオブション をインストールしたマシンを「連 動端末」として設定する事で、自動運転を行う事ができます。 ※設定、変更は後でも可能です。

<u>注意</u>

• [AC Management Console 簡易設定支援]で設定せずにこの「AC Management Console」を最初に起動した場合は、何も設定されていません。

[グループポリシーの編集]

画面左のツリーにて「グループポリシー」を選び、「メニューバー:編集」の「登録情報 編集」を実行すると、以下の様な「グループポリシー」編集画面が表示されます。 この「グループポリシー」では、この電源制御構成での共通情報を設定します。

💦 AC Management Console - ESM	PRO/AC Enterprise						
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘル	7°(<u>H</u>)						
🔲 🖬 🔛 🖅 🖉 🥔	?						
⊡- <mark></mark>	名称	IP address	説明	状態	in[V]	変動範囲[V]	out[\
 □ BC マルチサーバ構成 □ マルチサーバ構成 □ DC 電源装置 □ UPS_0001 □ BC 制御端末 □ DC 549-0C6781 □ BC 運動端末 □ BC 運動端末 □ BC 運動端末 □ BC 運動端末 	 □ マルチサーバ □ UFS_0001 ■ 549-0C6781 ● TMG195H 	172.16.1.255 172.16.1.222 172.16.1.19 172.16.1.18	マルチサーバ電… 制御端末1 連動端末1	正常ON マスタ動作中 通常運用中	96	094 ~ 097	96
グループポリシー						X	
この電源系統の共 名称 マルデ 説明 通信用認識コー (15文字ま) 通信用 IP addres 制御端末に属 「ローカルブ 「制御端末に属 「ローカノンブ 「制御端末にな を登録してくた 統計情報採取所	通管理情報を登録・編 サーバ構成 でのユニークなコード) ss [172.16.1.255 く ロードキャストアドレス) IP address](制御が1 さい) 鄧隔 [1 分	集します 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」	SNMP コミュニ SNMP通信異常 停電中のSNMP通 接続されたサーノ D:そのまま運用 1:shutdown	ティ名 public 確認時間 50 館具常で の制御 0		OK ≠+v)セル	

説明:

AMC画面のリストビューの「説明」に表示される情報です。

(特に制御処理では使用しませんので、管理のための情報として使用ください)

通信用認識コード:

この電源制御グループの識別に用いるコードです。ユニークなコードを登録してください。

コードは半角キャラクタコードで15文字までの長さを使用可能です。(2バイト文字 は使用しないでください。)

通信用 IP address :

この電源制御グループ内の全てのサーバが、制御端末に対して行う通信で使用する送 信先アドレスです。制御端末が1台の場合、このアドレスには制御端末のIPアドレスを 登録してください。

制御端末が複数台の場合、このアドレスには複数の制御端末へ届くようにブロードキ ャストアドレスを登録してください。 SNMPコミュニティ名:

SNMPカードの設定の際に登録したコミュニティ名を登録してください。

SNMP通信異常確認時間

SNMPカードとの状態監視を行う際に必要なパラメータです。指定時間(秒)の間、通 信できないと、通信エラーを認識し、AMCでは「不明」状態と認識します。

停電中のSNMP通信異常で接続されたサーバの制御

UPSで停電を認識した後にSNMPカードとの通信エラーを検出した場合の動作を指定で きます。1を指定すると通信エラー認識後、各連動端末に対してシャットダウン要求 をだして停止処理を試みます。ただし、連動端末へのネットワーク異常が発生してい る場合にはシャットダウンは行えません。

統計情報採取間隔

統計情報を採取する間隔(時間)を設定できます。1分に設定した場合、1分間隔で統 計情報を採取します。

[制御端末(サーバ)情報の編集]

画面左のツリーにて制御端末下にある「サーバ」を選び「メニューバー:編集」の「登録 情報編集」を実行すると、以下の様な「制御端末(サーバ)」編集画面が表示されます。 この「制御端末(サーバ)」では、制御用のサーバ情報を編集します。



名称:

サーバのコンピュータ名を正確に登録してください。

IP address :

サーバの I P アドレスを登録してください。サーバに複数の I P アドレスが設定して ある場合には、その他の制御端末や連動端末と共有している L A N での I P アドレ スを登録してください。 説明:

AMC画面のリストビューの「説明」に表示される情報です。 (特に制御処理では使用しませんので、管理のための情報として使用ください)

コンピュータ名を大文字に自動変換する:

コンピュータ名が大文字/小文字で識別されているサーバの場合にはチェックしません。

通常、Windowsは、すべて大文字で識別されています。

L i n u x : ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション (Linux版) をセットアップした場合 にチェックします。

SNMP Trapを使用しない:

SNMP Trapを利用しない場合にチェックします。

- ■ツリービューで制御端末を選択している状態で右クリックを実行すると、サーバ設定 に関するサブメニュー(指定サーバの設定、制御端末からの構成情報取得、制御端末 への構成情報送信など)が表示されます。
 - 一つのグループに複数の制御端末を登録し、制御の冗長化を行う場合は、このサブメ ニューにより全ての制御端末の構成情報が同じになるようにしてください。

(制御端末間の設定情報の自動同期機能はサポートしておりません。)

また、制御端末はそれぞれ別々の自動運用条件が設定できますが、UPSは共有する ため、自動OFFは、そのUPSから電源を供給されている全てのサーバでOFFの 条件が成立した時に実行されます。

[連動端末(サーバ)情報の編集]

画面左のツリーにて連動端末下にある「サーバ」を選び「メニューバー:編集」の「登録 情報編集」を実行すると、以下の様な「連動端末(サーバ)」編集画面が表示されます。 この「連動端末(サーバ)」では、制御用サーバに連動するサーバの情報を編集します。

AC Management Console - ESMPRO/A	AC Enterprise					_	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)							
🖬 🔁 🛲 🗇 🥔 🥔 💡 🤶							
E R network	名称	IP address	副印	状態	in[V]	変動範囲[V]	out[\
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	■ UPS 0001	172.16.1.255	フルチサード電	正堂ON	96	$094 \sim 097$	06
	549-0C6781	172.16.1.19	マルフラー/10mm 制御端末1	マスタ動作中	50	094 - 097	30
📕 UPS_0001	TMGI95H	172.16.1.18	連動端末1	通常運用中			
							_
TMG195H	連動端末(サ	-15)				2	<u>×</u>
	FESMPR(D/AC Enterprise ⊽	マルチサーバオプシ	ションコか、	L	OK	
	LESMPR()/ACBIade マルナ)/AC Advance マ	・サーハオフンヨノ。 ルチサーバオブショ	ト ョンノを		キャンヤル	
	セットアッ	プしたサーバを登	緑します。	4230.	_		
			/				
	2	称 TMGI95H	- (コンビュー Linuxの場合	2名:15文子まで。 当士大/小文字家区	別する	必重あけ)	
					·····		
		🗹 באלבי	ータ名を大文字に自	自動変換する。(Lin	uxの場	合は無効)	
	70 11	17010110		1			
	IP addre	ess 172.16.1.18		(例:172.16.1.10,)		
	副第	8月		1			
] 1	j Lin	ux	
				ブラウザ設定			
1.5%	┛ ┌───	,					브
1011	🗕 🗌 🗖 Adva	nce option mode					
	リモ	ート起動用 MAC	address 🗌				
	UŦ	ート記動用 IP add	dress			_	
						_	
	リモ	ート起動用 ネット	マスク				

名称:

サーバのコンピュータ名を正確に登録してください。

Windowsサーバの場合は大文字で、Linuxサーバの場合は大文字、小文字を区別してコン ピュータ名を入力して下さい。

IP address:

サーバの I P アドレスを登録してください。サーバに複数の I P アドレスが設定してある場合には、制御端末と共有している L A N での I P アドレスを登録してください。

説明:

AMC画面のリストビューの「説明」に表示される情報です。 (特に制御処理では使用しませんので、管理のための情報として使用ください)

コンピュータ名を大文字に自動変換する:

コンピュータ名が大文字/小文字で識別されているサーバの場合にはチェックしません。 通常、Windowsは、すべて大文字で識別されています。

Linux:

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション (Linux版) をセットアップした場合 にチェックします。

■ツリービューで制御端末を選択している状態で右クリックを実行すると、サーバ 設定に関するサブメニュー(ESMPRO/AC GUIの起動)が表示されます。ここから 「指定サーバの設定」を選択し、起動するESMPRO/AC GUIにより、選択した連動端 末:ESMPRO/AC Enterpriseマルチサーバオプション環境の自動運用条件の設定が 可能となります。 [電源装置(UPS)の編集]

画面左のツリーにて電源装置下にある「UPS」を選び「メニューバー:編集」の「登録 情報編集」を実行すると、以下の様な「電源装置」編集画面が表示されます。 この「電源装置」では、UPS情報を編集します。



電源異常確認時間:

電源異常が発生してから電源異常と断定するまでの時間。設定した時間(Sec)内に電源異常が回復した場合、電源異常の処理は行われない。

最初は IP address(①)が、先にセットアップしておいた SNMPカードに設定した I Pアドレスになっているか確認して、「SNMPによって情報採取」(②)を実行してください。設定が正常であれば、「SNMP設定情報」が入手され、「UPS型名」「シリアル番号」等と共に設定情報が表示(③)されます。

(ここで、「UPS型名」などが空欄になってしまう場合には、SNMPカードの設定を確認してく ださい) SNMPで入手した情報を確認し、「名称」「電源切断猶予時間」などを編集(④)したら、「情報の上書きをSNMPで...」(⑤)を実行してください(この操作により、UPSに情報が書き込まれます)。

(注意:設定後直ぐに「SNMPによって情報採取」を実行すると、古いデータが表示される場合があります。これは、SNMPでの設定要求がUPS内部に反映されるまで、若干のタイムラグあるためですので、数秒後に再度「SNMPによって情報採取」を実行してみてください。また、許容電圧などでは、設定したデータがそのUPSの仕様上不適当な場合、UPS側にて設定情報を自動的に補正する事もあります。)

電源異常確認時間など変更があれば変更(⑥)し、OK(⑦)を実行して下さい。

- (6) [AC Management Console]にて設定完了後、メニューより「ファイル(F)->設定保存(S)」を行い、設定ファイルを保存します。
- (7) 設定完了後、マシンをリブートします。

リブート後、 [AC Management Console] にて、設定を行ったサーバ、UPSなどの状態が正常に認識されていることを確認します。

3.5 AMC機能:冗長電源構成時の環境設定

ESMPRO/AC Enterprise では、AMC: AC Management Console機能によるマルチサーバ構成における自動電源運転制御をサポートしています。 この機能を使用する場合、予め「3.3 SNMPカードの設定」を行っておく必要があります。

【環境アイコンでの設定】

 ESMPRO/AutomaticRunningControllerグループの環境設定アイコンを起動すると、 下記ダイアログボックスが表示されます。

🚰 ESMPRO/AC Enterprise環境設定	
WEB機能	SNMP機能
環境 接続用エイリアス名 h°スワート° タイムアウト時間 5 - 分 設定 フ [*] ラウサ [*] からのアクセス管理 フ [*] ラウサ [*] からのアクセス強制解除	 SNMP機能による、クラスタの自動 運転を行う 基本設定 詳細状態表示設定 詳細状態表示設定 『 AC Management Consols in による管理を行う 「 他のUPS管理ソフトを使用しない 設定支援機能でツリーを作成 AC Management Consols 和新
 閉じる	

- (2) ESMPRO/AC Enterprise環境設定ダイアログボックス内のSNMP機能の『[AC Management Console]による管理を行う』のチェックボックスをONにします。
- (3) 『他のUPS管理ソフトを使用しない』チェックボックスをONにします。

 (4) ESMPRO/AC Enterprise環境設定ダイアログボックス内の 『設定支援機能でツリー を作成』 を実行すると [AC Management Console 簡易設定支援 -ESMPRO/AC Enterprise]が起動されます。

▲ AG Management Console 路見設定支援 - FSM	RO/AC Enternrise		
77イル(E) ヘルフ*(H)			
マルチサーバ構成 設定ファイル作成 構成表示	「元長電源構成」 設定ファイル作成	第成表示 グラスタ(マ) 第成表示 設定ファ	レチサーバ)構成 マイル作成 構成表示
設定を行いたい構成の【構成表 構成情報が表示されます。	示】ボタンを押すと		
۲ ۲			▼

この[AC Management Console 簡易設定支援]では、冗長電源構成の基礎部分の設定 を行います。

後で説明する「AC Management Console」のみでも設定は可能ですが、この[AC Management Console 簡易設定支援]にて、基礎部分の設定をする事をお勧めします。

注意

・設定できるサーバ台数は、1台。UPS は、3台までです。

- 4 台以上のUPSを設定する場合は、次に説明する[AC Management Console]にて設 定して下さい。
- ・設定ファイル作成中に登録するサーバ名は、コンピュータ名を設定して下さい。

サーバ1台、UPSを3台で、冗長電源構成を行う場合には、以下の様に登録します。

(4-1) グループ名を入力します。

冗長電源設定 構成設定			X
これから作成する形態のグループキ	るを入力して下ざい。		
冗長電源構成			
	〈 戻る(日)	次へ(N) >	キャンセル

(4-2) 制御端末にするサーバ名とそのIPアドレスを入力します。Linuxサーバの場合は、Linuxチェックボックスをチェックします。

冗長電源設定 サ−//設定	×
冗長電源を使用する サーバ名 と IPアドレス を設定して下さい。 注意:Windowsサーバの場合は大文字、Linuxサーバの時は大文字、 小文字を区別して入力して下さい。	
サーバ名(15文字まで有効です)	
TMG140HA	
IPアドレス	
172 16 1 90	
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

(4-3) UPS名とそのUPSに挿しているSNMPカードに設定したIPアドレスを入力します。

冗長電源設定 UPS	S設定							×
冗長電源 設定して	〔を設定す 下ざい。	る台数分のし	JPS名 儀	夏大8文字	፡)、 IPアド	ドレスを		
UPS1	UPS名	UPS_001						
IP	アドレス	172	16	1	99			
UPS2	UPS名	UPS_002						
IP	アドレス	172	16	1	199			
UPS3	UPS名	UPS_314						
IP	アドレス	172	16	1	7]		
			<	(戻る(<u>B</u>)		次へ(N) >	キャンセノ	L I

(4-4) 設定後、以下の様な構成になります。

중 AC Management Console 簡易設定支援 - ESMPRO/AC Enterprise ファイル(E) ヘルフ*(出)		_ 8 ×
マルチサーバ構成	クラスタ(マルチサード)構成 讃定ファイル作成構成表示	×
【冗長電源構成】 1 台のサーバに複数台のUPSから電源供給を行います。 グループ: 冗長電源構成		×
Server TM@140HA		
UPS1 UPS_001 UPS_002 172.16.1.99 UPS_002 UPS_314 UPS_314 UPS_102 UPS_314 UPS_1		
	juA 般	19 🗗 🗟 🕽 (ana

(5) [AC Management Console 簡易設定支援]にてマルチサーバ構成の設定を行った、あるいは、ESMPRO/AC Enterprise環境設定ダイアログボックス内の『AC Management Console起動』を起動すると、以下の様な画面が表示されます。



[AC Management Console 簡易設定支援 -ESMPRO/AC Enterprise]にて、冗長電源構成の設定ファイル作成を行った場合は、設定した情報が反映されているか確認して下さい。

また、UPS台数を追加する、登録情報を設定、変更する場合は、ここで行います。 ※設定、変更は後でも可能です。

<u>注意</u>

 [AC Management Console 簡易設定支援 —ESMPRO/AC Enterprise]で設定せずに この「AC Management Console」を最初に起動した場合は、何も設定されていま せん。 [グループポリシーの編集]

画面左のツリーにて「グループポリシー」を選び、「メニューバー:編集」の「登録情報 編集」を実行すると、以下の様な「グループポリシー」編集画面が表示されます。 この「グループポリシー」では、この電源制御構成での共通情報を設定します。

AC Management Conso	le - ESMPRO	AC Enterprise									>	<u> </u>
7ァイル(上) 編集(上) 表示	:(V) ∿⊮7*(<u>H</u> ≂∏ –⊒ ⊘)										_
		名称	IP address	[] 茨印月	状態	[in[V]]	·変動範囲[V]	out[V]	out[%]	充雷[%]	rc	-
白日、口長電源構成		☐ 冗長電源構成	172.16.1.255	tmg140ha								
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	55	UPS_001	172.16.1.99	机の上	正常ON	105	102~105	105	17	100	36	
	1		172.16.1.199	床の上 1990日 ト	正帝UN OFF	107	$105 \sim 107$ $104 \sim 107$	107	0	100	37 42	
- 🗗 UPS_002	2	TMG140HA	172.16.1.90	ueno席	マスタ動作中	101	104 101			100		
□ UPS_314	4	_										
	на											
												_
	グループボ	リシー										×
										·····		
	$z\sigma$)雷源系統の共	通管理情報を登	絵・編集します						<u> </u>	UK	
										+	ャンセル	
		々称 同日亜	酒雄式									_
		-on hree	MT-149.0 X									
		≣党 ⁸ 月										
לד ^י י	ì	耐信用認識コート	ESMACne	et		NMP -	13	. Inut	alie		_	
	~			(u)			A		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
		(15文字ま)	でのユニークな	コード)								
	28		1701610		s	NMP通	信異常確認明	邿間	50		Sec	
	ν.	∎1≣/H IP addre:	ss 172.10.1.2	.00	(古)	കുന്നത	:ммо:а/⇒ щ	₩-75	·			
		制御端末に届	K		接	電中のだ	いき 通信共	市じ	0	_		
		「ローカルブ	ロードキャストフ	アドレス」か、 創御が14の根	AT I O	そのま	ま運用		<u>ا</u>			
		を登録してくた	アル auuress」は さい	「「「」」「「「」」」「「」」」「「」」」」「「」」」」)「「」」」」)「「」」」」)」	1 1000	: shutd	own					
		統計情報採取問	問題 1	分								
		and the time of the										

説明:

AMC画面のリストビューの「説明」に表示される情報です。

(特に制御処理では使用しませんので、管理のための情報として使用ください)

通信用認識コード:

この電源制御グループの識別に用いるコードです。ユニークなコードを登録してください。

コードは半角キャラクタコードで15文字までの長さを使用可能です。(2バイト文字 は使用しないでください。)

通信用 IP address :

この電源制御グループ内の全てのサーバが、制御端末に対して行う通信で使用する送 信先アドレスです。制御端末が1台の場合、このアドレスには制御端末のIPアドレスを 登録してください。

制御端末が複数台の場合、このアドレスには複数の制御端末へ届くようにブロードキ ャストアドレスを登録してください。 SNMPコミュニティ名:

SNMPカードの設定の際に登録したコミュニティ名を登録してください。

SNMP通信異常確認時間

SNMPカードとの状態監視を行う際に必要なパラメータです。指定時間(秒)の間、通 信できないと、通信エラーを認識し、AMCでは「不明」状態と認識します。

停電中のSNMP通信異常で接続されたサーバの制御

UPSで停電を認識した後にSNMPカードとの通信エラーを検出した場合の動作を指定で きます。1を指定すると通信エラー認識後、各連動端末に対してシャットダウン要求 をだして停止処理を試みます。ただし、連動端末へのネットワーク異常が発生してい る場合にはシャットダウンは行えません。

統計情報採取間隔

統計情報を採取する間隔(時間)を設定できます。1分に設定した場合、1分間隔で統 計情報を採取します。

[制御端末(サーバ)情報の編集]

画面左のツリーにて制御端末下にある「サーバ」を選び「メニューバー:編集」の「登録 情報編集」を実行すると、以下の様な「制御端末(サーバ)」編集画面が表示されます。 この「制御端末(サーバ)」では、制御用のサーバ情報を編集します。

AC Management Console - ESMPRO ファイル(F) 編集(F) 表示(V) ヘルフ°(H	/AC Enterprise									<u>-0×</u>
□ <mark></mark>	名称	IP address	説明	状態	in[V]	│変動範囲[V]	out[V]	out[%]	充電[X]	°C
 □ 10 metwork. □ 10 元長電源構成 □ 10 元長電源構成 □ 10 電源装置 □ 10 電源装置 □ UPS_001 □ UPS_0101 □ UPS_0101<th>名称 □ 元長電源構成 ■ UPS_001 ■ UPS_002 ■ UPS_314 ■ TMG140HA ■ 即留電末(サ 電源管理</th><th>IP address 172161.255 172161.99 172161.199 172161.7 172161.90 ーパン /AC Enterpris 制御が行える</th><th>i説明 tmg140ha 机の上 床の上 199の上 ueno席 seかAC Advan サーバの登録</th><th>状態 正常のN 正常のN OFF マスク動作中</th><th>in[<u>M</u>] 105 107 107</th><th>変動範囲[M] 102 ~ 105 105 ~ 107 104 ~ 107</th><th><u> out[V]</u> 105 107 0 0</th><th>out[%] 17 17 0 K</th><th><u>充電网</u> 100 100 100 ×Ⅰ</th><th>36 37 42</th>	名称 □ 元長電源構成 ■ UPS_001 ■ UPS_002 ■ UPS_314 ■ TMG140HA ■ 即留電末(サ 電源管理	IP address 172161.255 172161.99 172161.199 172161.7 172161.90 ーパン /AC Enterpris 制御が行える	i説明 tmg140ha 机の上 床の上 199の上 ueno席 seかAC Advan サーバの登録	状態 正常のN 正常のN OFF マスク動作中	in[<u>M</u>] 105 107 107	変動範囲[M] 102 ~ 105 105 ~ 107 104 ~ 107	<u> out[V]</u> 105 107 0 0	out[%] 17 17 0 K	<u>充電网</u> 100 100 100 ×Ⅰ	36 37 42
	名	称 <mark> TMG140 </mark> ▼ :	IA (コ Li コンピュータ名	コンピュータ名: 1 nuxの場合は大/ を大文字に自動!	5文字ま 小文字 変換する	ー で。 を区別する。 5。(Linuxの)	必要あり 場合は	し) 無効)		
	IP addre 訳	ss 172.16.1.9 明	0	(例: 1	72.16.1.1 Linux Сммр	10)	11 7 21 5			
 /¯*4				ブラ	ウザ酸気		10-8.0 1		NUM	1 4
<u></u>	ー Adva リモ リモ	ance option m — ト起動用 № — ト起動用 If — ト起動用 オ	ode IAC address P address やットマスク				_			

名称:

サーバのコンピュータ名を正確に登録してください。

IP address :

サーバの I P アドレスを登録してください。サーバに複数の I P アドレスが設定してある場合には、その他の制御端末や連動端末と共有している L A N での I P アドレスを登録してください。

説明:

AMC 画面のリストビューの「説明」に表示される情報です。 (特に制御処理では使用しませんので、管理のための情報として使用ください)

コンピュータ名を大文字に自動変換する:

コンピュータ名が大文字/小文字で識別されているサーバの場合にはチェックしません。

通常、Windowsは、すべて大文字で識別されています。

Linux:

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション (Linux版) をセットアップした場合 にチェックします。

SNMP Trapを使用しない:

SNMP Trapを利用しない場合にチェックします。

また、ツリービューで制御端末を選択している状態で右クリックを実行すると、サーバ 設定に関するサブメニュー(指定サーバの設定、制御端末からの構成情報取得、制御端 末への構成情報送信など)が表示されます。 [電源装置(UPS)の編集]

画面左のツリーにて電源装置下にある「UPS」を選び「メニューバー:編集」の「登録 情報編集」を実行すると、以下の様な「電源装置」編集画面が表示されます。 この「電源装置」では、UPS情報を編集します。



電源異常確認時間:

電源異常が発生してから電源異常と断定するまでの時間。設定した時間(Sec)内に電 源異常が回復した場合、電源異常の処理は行われない。

最初は IP address(①)が、先にセットアップしておいた SNMPカードに設定した I Pアドレスになっているか確認して、「SNMPによって情報採取」(②)を実行してください。設定が正常であれば、「SNMP設定情報」が入手され、「UPS型名」「シリアル番号」等と共に設定情報が表示(③) されます。

(ここで、「UPS型番」などが空欄になってしまう場合には、SNMPカードの設定を確認してく ださい)

SNMPで入手した情報を確認し、「名称」「電源切断猶予時間」などを編集(④)したら、「情報の上書きをSNMPで...」(⑤)を実行してください(この操作により、UPSに情報が書き込まれます)。

(注意:設定後直ぐに「SNMPによって情報採取」を実行すると、古いデータが表示される場合があります。これは、SNMPでの設定要求がUPS内部に反映されるまで、若干のタイムラグあるためですので、数秒後に再度「SNMPによって情報採取」を実行してみてください。 また、許容電圧などでは、設定したデータがそのUPSの仕様上不適当な場合、UPS側にて設定情報を自動的に補正する事もあります。)

電源異常確認時間など変更があれば変更(⑥)し、OK(⑦)を実行して下さい。

- 注意:「電源切断猶予時間」「Disk保護時間」は冗長構成のUPSでは全て同じ値に設定してください。
- (6) [AC Management Console]にて設定完了後、メニューより「ファイル(F)->設定保存(S)」を行い、設定ファイルを保存します。
- (7)設定完了後、マシンをリブートします。
 リブート後、 [AC Management Console] にて、設定を行ったサーバ、UPSなどの状態が正常に認識されていることを確認します。

3. 6 AMC機能: クラスタ(マルチサーバ)構成時の環境設定

ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1では、AMC: AC Management Console機能によるクラスタ 環境における自動電源運転制御をサポートしています。 この機能を使用する場合、予め「3.3 SNMPカードの設定」を行っておく必要があります。

【環境アイコンでの設定】

(1) ESMPRO/AutomaticRunningControllerグループの環境設定アイコンを起動すると、 下記ダイアログボックスが表示されます。

	設定しないでください
LESMPRO/AC Enterprise環境設定	
┌₩EB機能	SNMP #與台灣
環境	□ SNMP機能による、クラスタの自動 運転を行う
接続用工作97%名	其本設定 ()
n°スワード	
	詳細状態表示設定 (2)
	☑ [AC Management Console] □ による管理を行う
- ブラウザからのアクセス管理	☑ 他のUPS管理ソフトを使用しない
ブラウザカンらのアウセス強制解除	設定支援機能でツリーを作成
	AC Management Console 起動
開じる	<u> </u>

- (2) ESMPRO/AC Enterprise環境設定ダイアログボックス内のSNMP機能の『[AC Management Console]による管理を行う』のチェックボックスをONにします。
- (3) 『他のUPS管理ソフトを使用しない』チェックボックスをONにします。

 (4) ESMPRO/AC Enterprise環境設定ダイアログボックス内の 『設定支援機能でツリー を作成』 を実行すると [AC Management Console 簡易設定支援 -ESMPRO/AC Enterprise]が起動されます。

▲C Management Console 簡易設定支援 - ESMPRO/AC Enterprise	X
ファイル(E) ヘルプ(E) / パリプ(E) / パ)/ パリ	
設定ファイル作成 構成表示 設定ファイル作成 構成表示	
設定を行いたい構成の【構成表示】ボタンを押すと	
構成情報が表示されます。	
	_
	-
۲	

この[AC Management Console 簡易設定支援]では、クラスタ(マルチサーバ)構成の基礎部分の設定を行います。

後で説明する「AC Management Console」のみでも設定は可能ですが、この[AC Management Console 簡易設定支援]にて、基礎部分の設定をする事をお勧めします。 また、「AC Management Console」のみで設定を行った場合、この[AC Management Console 簡易設定支援]の[構成表示]で、クラスタ構成の設定情報の表示は出来ません。

注意

- ・設定できる構成は、以下の通りです。
 - UPS1台で構成:

制御サーバ、クラスタサーバ、共有ディスクに1台のUPSから電源を供給 UPS2台で構成:

制御サーバ、共有ディスクで1台、クラスタサーバで1台のUPSから電源 を供給

UPS2台で構成:

制御サーバを1台、共有ディスク、クラスタサーバを1台のUPSから電源 供給

UPS3台で構成:

制御サーバ、共有ディスク、クラスタサーバをそれぞれ1台ずつのUPSから電源供給

- UPS4台で構成: 制御サーバ、共有ディスク、クラスタサーバで1台ずつのUPSからそれぞ れ電源供給
- ・設定できる制御サーバ台数は、3台。クラスタサーバ(連動装置)は、4台までです。
- ・これ以上の設定を行う場合は、次に説明する[AC Management Console]にて設定して下さい。
- ・設定ファイル作成中に登録するサーバ名は、コンピュータ名を設定して下さい。 また、Windowsサーバの場合は大文字で、Linuxサーバの場合は大文字、小文字を区 別してコンピュータ名を入力して下さい。

UPS2台構成 (制御サーバ、共有ディスクで1台、クラスタサーバで1台のU PSから電源を供給)で、制御サーバ1台、クラスタサーバ2台の設定を行う場合 には、以下の様に登録します。

-基	
	UPS1台で構成(制御サーバ、クラスタサーバ、共有ディスクに1台のUPS から電源供給)
	○ UPS2台で構成(制御サーバ、共有ディスクで1台、クラスタサーバで1台の UPSからそれぞれ電源供給)
	○ UPS2台で構成(制御サーバを1台、共有ディスク、クラスタサーバを1台の UPSから電源供給)
	○ UPS3台で構成(制御サーバ、共有ディスク、クラスタサーバをそれぞれ1台 ずつのUPSから電源供給)
	 UPS4台で構成(制御サーバ、共有ディスク、クラスタサーバで1台ずつの UPSからそれぞれ電源供給)
	ループの追加(基本設定を行った後、設定可能になります)
	クラスタサーバとUPSの組み合わせを追加 道加
	共有ディスク用のUPS、クラスタサーバとUPSの組み合わせを追加 追加

(4-1) クラスタ構成の基本設定として、接続形態を選択します。

(4-2) UPSの接続台数分、グループ名を入力します。

クラスタ(マルチサーバ構成) グループ設定	×
これから作成する形態のグループ名を入力して下さい。UPSの接続形態でUPSを複数台選択してい る場合は、UPSの台数分のグループ名を2台目、3台目、4台目の部分に入力して下さい。	
グループ設定	
グループ1 Øラスタ	
グループ2 CLSTERPRO	
グループ3	
グループ4	
< 戻る(B) 次へ(N) >	キャンセル

 (4-3)制御端末にするサーバのサーバ名とそのIPアドレス、制御サーバに接続 するUPSとUPSに挿したSNMPカードのIPアドレスを入力します。
 制御サーバがLinuxサーバの場合は、Linuxチェックボックスをチェックします。

クラスタ(マルチサーバ構成)	設定 制御サーバ設定	×
クラスタ構成を管理す 源を供給するUPSのし は8文字まで有効です 注意:実コンピュ 仮想コンピ また、Wind して入力し	る制御サーバ(制御端末)のサーバ名、IPアドレスと、その制御サーバに電 JPS名とIPアドレスを入力して下さい。なおサーバ名は15文字まで、UPS名 す。 ータ名や実IPで指定する事。 1〜タ名やフローティングIPは入力しないでください。 owsサーバの場合は大文字、Linuxサーバの時は大文字、小文字を区別 て下さい。	
制御サーバ名	TMG140HA	
IPアドレス	172 16 1 90	
制御サーバ名	🗖 Linux	
IPアドレス		
制御サーバ名	🗖 Linux	
IPアドレス		
UPS名	UPS1	
IPアドレス	172 16 1 99	
		_
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

(4-4) クラスタサーバ名とそのIPアドレス、そのクラスタサーバに接続するUPS とUPSに挿したSNMPカードのIPアドレスを入力します。

ツクしより。						
クラスタ(マルチサーバ構成)設定 ク	ラスタサーバ設定	≧ 1				×
制御サーバによって管理される 供給するUPSのUPS名とIPア 字まで有効です。 注意:実コンピュータ名や実 仮想コンピュータ名や また、Windowsサー/ して入力して下さい。	5クラスタサーバ(ドレスをを入力) (IPで指定する マローティングIP (の場合は大文	Dサーバ名、 して下さい。 事。 は入力しな (字、Linux)	IPアドレスと なおサーバ: いでください サーバの時(く、そのクラスな 名は15文字ま 。 は大文字、小	dサーバに電源を teで、UPS名は8文 文字を区別	
クラスタサーバ名1	TMG110EC1				🗖 Linux	
IPアドレス	172	16	1	91		
クラスタサーバ名2	TMG110EC2	2			🗖 Linux	
IPアドレス	172	16	1	92		
クラスタサーバ名3					🗖 Linux	
IPアドレス						

220

< 戻る(<u>B</u>)

クラスタサーバ名4

IPアドレス

UPS名

I

IPアドレス 172

UPS2

16

1

🔲 Linux

次へ(N) >

キャンセル

クラスタサーバがLinuxサーバの場合は、Linuxチェックボックスをチェ ックします。 (4-5) 設定後、以下のような構成になります。



(5) [AC Management Console 簡易設定支援]にてクラスタ (マルチサーバ) 構成の設定 を行った、あるいは、ESMPRO/AC Enterprise環境設定ダイアログボックス内の『AC Management Console起動』を起動すると、以下の様な画面が表示されます。



[AC Management Console 簡易設定支援 -ESMPRO/AC Enterprise]にて、クラスタ (マルチサーバ)構成の設定ファイル作成を行った場合は、設定した情報が反映さ れているか確認して下さい。 また、登録情報を設定、変更する場合は、ここで行います。 ※設定、変更は後でも可能です。

<u>注意</u>

• [AC Management Console 簡易設定支援 -ESMPRO/AC Enterprise]で設定せずに この「AC Management Console」を最初に起動した場合は、何も設定されていま せん。 [グループポリシーの編集]

画面左のツリーにて「グループポリシー」を選び、「メニューバー:編集」の「登録情報 編集」を実行すると、以下の様な「グループポリシー」編集画面が表示されます。 この「グループポリシー」では、この電源制御構成での共通情報を設定します。

AC Management Cor ファイル(F) 編集(F) 表	nsole - ESMPRC ≅⊞(V) _∧ルフ°(H)/AC Enterprise ()								- D ×	
	- # # 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	° ?									
e de network		名称	IP address		状態		in[V] 🛛	を動範囲[V]	out[V	out[%]	
	_	TMG140HA	172.16.1.90	制御端末1	マスタ動作中						
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		UPS_001	172.16.1.99 172.16.1.255	制御端末用 電… クラスタ構成	正常ON		104 1	$02 \sim 105$	104	31	
「」 TMG 「」 TMG 「」 TMG 連動編ま	140HA	UPS 220	172.16.1.220	クラスタ用 電源	正常ON		104 1	$02 \sim 105$	105	15	
		TMG110EC1	172.16.1.91 172.16.1.92	クラスタ1 クラスタ2	週常運用中 通常運用中						
	PRO	-									
□ CLST	FERPRO 装置										
「一日日」	ガループポリシ	,									X
□ - 13 連動	110 21032										
									[0	
一日は、2里町	この電	記源系統の共通	管理情報を登	緑・編集します						. د. ا	
										++2	
		名称 クラスタ									
		説明 🛛									
	通信	自由認識してい	ESMACnet	•				- In the literature of the lit	_		
	2011			•		SNMP 121	- ナイモ	, publi	C		
้ บริ [*] ส		(15文字まで	のユニークなコ	コード)				_			
	(南方	≑⊞ ID oddrood	172161.25	5	_	SNMP通信異常	常確認明	時間	50	Sec	;
	<u>سا</u> ر	E/H] IF address	[172.10.1.20	,oj	(i	ē雷中のSNME	補信異	常で			
	\$	制御端末に届く		191 - D 1945	ł	義されたサー	売の制	ì) ì))		
		「制御端末の	コードキャスドア IP address I(制	Fレス」か、 II御が1台の場合	のみ)	0:そのまま通 1:obutdown	印	L			
	3	を登録してくださ	<u>1</u> ,1			1 · shutdown					
	Ŕ	計情報採取間	隔 1	分							
1											
1	ガループポリシ										X
	278 27822	·									
									[Ö	
	この電	電源系統の共通	管理情報を登	緑・編集します							
										++2	
	:	名称 CLUSTE	RPRO								
	į	説明 🛛									
	通信	自由認識したと	ESMACnet	-			-=	- In the Li	_		
	X2211			•		SNMP 121	- ナイモ	, publi	C		
		(15文字まで	のユニークなコ	コード)				-			
	()面()	≘⊞ IP addrood	172161.98	55	_	SNMP通信異常	常確認問	時間	50	Sec	;
	D⊞13	and in address	172.10.1.20	,5	(i	ē雷中のSNME	诵信異	, 常で			
	ŕ	制御端末に届く	゚ ゙゚゚゠ゖ゚゚゚゚゚゚゠ヮヮゖヮ	191 . Tuto	ł	義徳されたサー	売の制	ì) ì))		
		「制御端末の	「「一マスト」 IP address」(制	10人の人	のみ)	U:そのまま通 1:sbutdown	明	L			
	7	を登録してくださ	<u>\$</u> ()			- Shattown					
	統	計情報採取間	隔 1	分							

説明:

AMC画面のリストビューの「説明」に表示される情報です。 (特に制御処理では使用しませんので、管理のための情報として使用ください)

UL1046-602 856-126942-002-A 通信用認識コード:

この電源制御グループの識別に用いるコードです。ユニークなコードを登録してください。

コードは半角キャラクタコードで15文字までの長さを使用可能です。(2バイト文字 は使用しないでください。)

通信用 IP address:

- この電源制御グループ内の全てのサーバが、制御端末に対して行う通信で使用する送 信先アドレスです。制御端末が1台の場合、このアドレスには制御端末のIPアドレスを 登録してください。
- 制御端末が複数台の場合、このアドレスには複数の制御端末へ届くようにブロードキ ャストアドレスを登録してください。

SNMPコミュニティ名:

SNMPカードの設定の際に登録したコミュニティ名を登録してください。

SNMP通信異常確認時間:

SNMPカードとの状態監視を行う際に必要なパラメータです。指定時間(秒)の間、通 信できないと、通信エラーを認識し、AMCでは「不明」状態と認識します。

停電中のSNMP通信異常で接続されたサーバの制御:

UPSで停電を認識した後にSNMPカードとの通信エラーを検出した場合の動作を指定で きます。1を指定すると通信エラー認識後、各連動端末に対してシャットダウン要求 をだして停止処理を試みます。ただし、連動端末へのネットワーク異常が発生してい る場合にはシャットダウンは行えません。

統計情報採取間隔:

統計情報を採取する間隔(時間)を設定できます。1分に設定した場合、1分間隔で統 計情報を採取します。

[制御端末(サーバ)情報の編集]

画面左のツリーにて制御端末下にある「サーバ」を選び「メニューバー:編集」の「登録 情報編集」を実行すると、以下の様な「制御端末(サーバ)」編集画面が表示されます。 この「制御端末(サーバ)」では、制御用のサーバ情報を編集します。



名称:

サーバのコンピュータ名を正確に登録してください。

IP address :

サーバのIPアドレスを登録してください。サーバに複数の IPアドレスが設定してある場合には、その他の制御端末や連動端末と共有しているLANでのIPアドレスを登録してください。

説明:

AMC画面のリストビューの「説明」に表示される情報です。 (特に制御処理では使用しませんので、管理のための情報として使用ください)

コンピュータ名を大文字に自動変換する:

コンピュータ名が大文字/小文字で識別されているサーバの場合にはチェックしません。 通常、Windowsは、すべて大文字で識別されています。

Linux:

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション(Linux版)をセットアップした場合 にチェックします。

SNMP Trapを使用しない:

SNMP Trapを利用しない場合にチェックします。

■ツリービューで制御端末を選択している状態で右クリックを実行すると、サーバ設定 に関するサブメニュー(指定サーバの設定、制御端末からの構成情報取得、制御端末 への構成情報送信など)が表示されます。

一つのグループに複数の制御端末を登録し、制御の冗長化を行う場合は、このサブメ ニューにより全ての制御端末の構成情報が同じになるようにしてください。

(制御端末間の設定情報の自動同期機能はサポートしておりません。)

また、制御端末はそれぞれ別々の自動運用条件が設定できますが、UPSは共有する ため、自動OFFは、そのUPSから電源を供給されている全てのサーバでOFFの 条件が成立した時に実行されます。 [電源装置(UPS)の編集]

画面左のツリーにて電源装置下にある「UPS」を選び「メニューバー:編集」の「登録 情報編集」を実行すると、以下の様な「電源装置」編集画面が表示されます。 この「電源装置」では、UPS情報を編集します。



電源異常確認時間:

電源異常が発生してから電源異常と断定するまでの時間。設定した時間(Sec)内に電源異常が回復した場合、電源異常の処理は行われない。

最初は IP address (①) が、先にセットアップしておいた SNMPカードに設定した I Pアドレスになっているか確認して、「SNMPによって情報採取」(②)を実行してください。設定が正常であれば、「SNMP設定情報」が入手され、「UPS型名」「シリアル番号」等と共に設定情報が表示(③) されます。

(ここで、「UPS型番」などが空欄になってしまう場合には、SNMPカードの設定を確認してく ださい)

SNMPで入手した情報を確認し、「名称」「電源切断猶予時間」などを編集(④)したら、「情報の上書きをSNMPで...」(⑤)を実行してください(この操作により、UPSに情報が書き込まれます)。

(注意:設定後直ぐに「SNMPによって情報採取」を実行すると、古いデータが表示される場合があります。これは、SNMPでの設定要求がUPS内部に反映されるまで、若干のタイムラグあるためですので、数秒後に再度「SNMPによって情報採取」を実行してみてください。 また、許容電圧などでは、設定したデータがそのUPSの仕様上不適当な場合、UPS側にて設定情報を自動的に補正する事もあります。)

電源異常確認時間など変更があれば変更(⑥)し、OK(⑦)を実行して下さい。

注意:「電源切断猶予時間」「Disk保護時間」は冗長構成のUPSでは全て同じ値に設定してください。

[連動端末(サーバ)の編集]

画面左のツリーにて連動端末下にある「サーバ」を選び「メニューバー:編集」の「登録 情報編集」を実行すると、以下の様な「連動端末(サーバ)」編集画面が表示されます。 この「連動端末(サーバ)」では、制御用サーバに連動するサーバの情報を編集します。

AC Management Console - ESMPRO	AC Enterprise								
	/ ?								
□- <mark>]</mark> network	名称	IP address	見日月	状態	in[V]	変動範囲[V]	out[V]	out[%]	
 □-103 クラスタ □-103 つラスタ □-103 電源装置 □-104 電源装置 	 クラスタ TMG140HA UPS_001 	172.16.1.255 172.16.1.90 172.16.1.99	制御端末1 制御端末用 電…	 マスタ動作中 正常ON	104	$102 \sim 105$	104	31	
日報 制御鮮末 「TKG140HA 日報 運動が端末 日報 運動が端末 日報 運動が端末 日報 運動が端末 日報 2555EFFPRO 日報 電源装置 日報 電源装置 日報 制御端末 日報 2555EFFPRO 日報 制御端末 日報 2555EFFPRO 日報 利御端末 日報 10555EFFPRO 日報 10555EFFPRO 日報 10555EFFPRO 日報 10555EFFPRO 日報 10555EFFPRO	CLSTERPRO	17216.1265 17216.1220 17216.1.91 17216.1.91 17216.1.92	クラスタ構成 クラスタ用 電源 クラスタ1 クラスタ2	正举ON 通常運用中 通常運用中	104	102 ~ 105	105	15	
		連動端末(サーバン						×
		「ESMPF 「ESMPF 「ESMPF セットア	RO/AC Enterp RO/ACBlade つ RO/AC Advan ップしたサーノ	rise マルチサー/ マルチサーバオブ ce マルチサーバ: でを登録します。	ドオプション ドションJ、 オプションJ ピュータ名	ハか、 を, ↓15文字ま	-7°-	0 ++:	К
		5	名称 [IMGIIU	Linux	の場合は	大/小文字	を区別	する必要す	がり)
1.5%	•	-		/ビュータ名を大文	と字に自動	変換する。	(Linux	の場合は	無効)
V7 1		IP add	ress 172.16.1.	91	< (19	J: 172.16.1	.10)		
		I	説明 クラスタ	1		ブラウザ酸	二	Linux	
		I Adv y= y= y=	rance option n モート起動用 モート起動用 モート起動用:	node MAC address IP address ネットマスク					

名称:

サーバのコンピュータ名を正確に登録してください。

Windowsサーバの場合は大文字で、Linuxサーバの場合は大文字、小文字を区別してコン ピュータ名を入力して下さい。

IP address:

サーバの I P アドレスを登録してください。サーバに複数の I P アドレスが設定してある場合には、制御端末と共有している L A N での I P アドレスを登録してください。

説明:

AMC画面のリストビューの「説明」に表示される情報です。 (特に制御処理では使用しませんので、管理のための情報として使用ください)

Linux:

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション (Linux版) をセットアップした場合 にチェックします。

UL1046-602 856-126942-002-A コンピュータ名を大文字に自動変換する:

コンピュータ名が大文字/小文字で識別されているサーバの場合にはチェックしません。 通常、Windowsは、すべて大文字で識別されています。

■ツリービューで制御端末を選択している状態で右クリックを実行すると、サーバ設定に 関するサブメニュー(ESMPRO/AC GUIの起動)が表示されます。ここから「指定サーバ の設定」を選択し、起動するESMPRO/AC GUIにより、選択した連動端末:ESMPRO/AC Enterpriseマルチサーバオプション環境の自動運用条件の設定が可能となります。

[連動装置(UPS)の編集]

画面左のツリーにて連動装置下にある「UPS」を選び「メニューバー:編集」の「登録 情報編集」を実行すると、以下の様な「電源装置」編集画面が表示されます。 この「電源装置」では、制御用サーバに連動して電源供給を制御されるUPSの情報を 編集します。



電源異常確認時間:

電源異常が発生してから電源異常と断定するまでの時間。設定した時間(Sec)内に電 源異常が回復した場合、電源異常の処理は行われない。

最初は IP address(①)が、先にセットアップしておいた SNMPカードに設定した I Pアドレスになっているか確認して、「SNMPによって情報採取」(②)を実行してください。設定が正常であれば、「SNMP設定情報」が入手され、「UPS型名」「シリアル番号」等と共に設定情報が表示(③) されます。

(ここで、「UPS型番」などが空欄になってしまう場合には、SNMPカードの設定を確認してく ださい)

SNMPで入手した情報を確認し、「名称」「電源切断猶予時間」などを編集(④)したら、「情報の上書きをSNMPで...」(⑤)を実行してください(この操作により、UPSに情報が書き込まれます)。

(注意:設定後直ぐに「SNMPによって情報採取」を実行すると、古いデータが表示される場合があります。これは、SNMPでの設定要求がUPS内部に反映されるまで、若干のタイムラグあるためですので、数秒後に再度「SNMPによって情報採取」を実行してみてください。 また、許容電圧などでは、設定したデータがそのUPSの仕様上不適当な場合、UPS側にて設定情報を自動的に補正する事もあります。)

電源異常確認時間など変更があれば変更(⑥)し、OK(⑦)を実行して下さい。

- 注意:「電源切断猶予時間」「Disk保護時間」は冗長構成のUPSでは全て同じ値に設定してください。
- (6) [AC Management Console]にて設定完了後、メニューより「ファイル(F)->設定保存(S)」を行い、設定ファイルを保存します。
- (7) 設定完了後、マシンをリブートします。
 リブート後、 [AC Management Console] にて、設定を行ったサーバ、UPSなどの状態が正常に認識されていることを確認します。

[クラスタ構成におけるグループの追加]

AC Management Console 簡易設定支援では、以下の機能を提供しています。

- ・クラスタサーバ(連動端末)とUPSとの組み合わせでのグループ追加
- ・共有ディスク用のUPSとクラスタサーバ(連動端末)とUPSの組み合わせでのグループ追加

これにより、基本設定の設定後、基本設定のみでは追加できない、より規模の大きなク ラスタ(マルチサーバ構成)システムの設定を行う事ができます。 追加したグループは、基本設定で設定した制御サーバにより制御されます。

<u>注意:</u>

- ・追加設定は、クラスタ(マルチサーバ)構成での基本設定を行った後に有効になり ます。
- ・グループの追加設定後に基本設定の変更を行った場合、追加設定したグループは削除されます。
- ・追加設定後、追加した項目の変更をする場合は、[AC Management Console]にて変更して下さい。

クラスタ(マルチサーバ構成)構成設定	
これから作成する接続形態を選択して下さい。また、設定後、クラスタ構成のグループを追加 する場合には、下部のグループの追加より行って下さい。	
基本設定	
ークラスタ構成でのUPSの接続形態	
OUPS1台で構成(制御サーバ、クラスタサーバ、共有ディスクに1台の UPSから電源供給)	
 UPS2台で構成(制御サーバ、共有ディスクで1台、クラスタサーバで 1台のUPSからそれぞれ電源供給) 	
 UPS2台で構成(制御サーバを1台、共有ディスク、クラスタサーバを1 台のUPSから電源供給) 	
 UPS3台で構成(制御サーバ、共有ディスク、クラスタサーバをそれぞれ1台ずつのUPSから電源供給) 	
○ UPS4台で構成(制御サーバ、共有ディスク、クラスタサーバで1台ず つのUPSからそれぞれ電源供給)	
クループの追加(基本設定を行った後、設定可能になります)	(1)
クラスタサーバとUPSの組み合わせを追加	(1)
共有ディスク用のUPS,クラスタサーバとUPSの組み合わせを追加 追加	(2)
< 戻る(日) 次へ(11) > キャンセル	

(1) クラスタサーバ(連動端末)とUPSの組み合わせでの設定

クラスタサーバとそのクラスタサーバに電源を供給するUPSの組み合わせのグループを追 加します。

クルキノ治のよびクラスタを		下さい。なおサーバ名は	15文字まで、UPS名は8 -	
² 供給するUPSのUPS名とIP と字まで有効です。	アドレスをを入力して			
注意: 実コンビュータ名や 仮想コンビュータ名	実IPで指定する事。 やフローティングIPは7	入力しないでください。		
グループ名 OLS	TERPRO2			
クラスタサーバ名1	TMG110EC3		🗖 Linux	
IPアドレス	172 16	1 93]	
クラスタサーバ名2	TMG110EC4		🗖 Linux	
IPアドレス	172 16	1 94		
クラスタサーバ名3			🗖 Linux	
IPアドレス				
クラスタサーバ名4			Linux	
IPアドレス				
UPS名	UPS 221		ОК	
IPアドレス	172 16	1 221	キャンセル	
AC Management Console - ES (ル(E) 編集(E) 表示(V) / II (E) 翻 (回) ● 日 夕	MPRO/AC Enterprise いしつ*(<u>H</u>) 生雪 名称	TP address [198	日 / 状能	
AC Management Console - EX *(ル(F) 編集(E) 表示(V) / 日 (A) (部) (部) (部) (部) (* 中 (4) (*) 中 (5) (*) 中 (5) (*) 中 (5) (*) 中 (5) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*)	SMPRO/AC Enterprise NJフ*(1) 「空」 名称 「フラスタ 」 UPS1 「TMG140HA 「CI STERPRO	IP address 該知時 172.16.1.255 172.16.1.99 172.16.1.90 172.16.1.90 255.255.255.25 255.255.25	月 状態 正常ON 設定後、	■ inM 変動範囲M 104 102~105 ここにグループの
AC Management Console - ES *(ル(E) 編集(E) 表示(V) / 日 2 翻 面 の の の の (R) network - 1/8 クラスタ - 1/8 電源装置 - 1/8 1/8/140HA	SMPRO/AC Enterprise VU2*(世) 名称 つクラスタ UPS1 TMG140HA CLSTERPRO UPS2 ロレンション	IP address 該地 172.16.1255 172.16.1.99 172.16.1.90 255.255.255 172.16.1.20 172.16.1.220 172.16.1.210 172.16.1.210	月 【 状態 正業ON 設定後、 ツリーが	■ inM 変動範囲M 104 102~105 ここにグループの 作成されます。
AC Management Console - ES ・(ル(E) 編集(E) 表示(V) ・ 副 2 日 一 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	SMPRO/AC Enterprise NU2*仕) 名称 つクラスタ UPS1 TMG140HA CLSTERPRO UPS2 TMG110EC1 TMG110EC1	IP address 該用 172.16.1.255 172.16.1.99 172.16.1.90 255.255.255 172.16.1.90 172.16.1.92 172.16.1.91 172.16.1.92 172.16.1.92 11.1255	月 【 状態 正常ON 設定後、 ツリーが	■ inM 変動範囲M 104 102~105 ここにグループの 作成されます。
AC Management Console - E (ル(F) 編集(E) 表示(W) / 副 副 回 ● 印 多 の network ● 昭 クラスタ ● 昭 クラスタ ● 昭 クラスタ ● 明 電源装置 ● 明 制御端末 ● 明 連動端末 ● 昭 達動端末 ● 昭 CLSTERPRO	SMPRO/AC Enterprise NU7*(日) 名称 クラスタ UPS1 TMG140HA CLSTERPRO UPS2 TMG110EC1 TMG110EC2 CLSTERPRO2 UPS221 UPS221 UPS221	IP address 詳規 172.16.1.255 172.16.1.90 172.16.1.90 172.16.1.90 255.255.255.25 172.16.1.220 172.16.1.91 172.16.1.92 172.16.1.92 172.16.1.255 172.16.1.255 172.16.1.255 172.16.1.221 122.16.1.92	月	■ inM 変動範囲M 104 102~105 ここにグループの 作成されます。
AC Management Console - EX (ル(E) 編集(E) 表示(U) / 副 図 創 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	MPRO/AC Enterprise NJ-7℃ 名称 ○ クラスタ □ クラスタ □ UPS1 □ TMG110EC1 □ TMG110EC2 □ CLSTERPRO2 □ UPS 221 □ TMG110EC2 □ CLSTERPRO2 □ UPS 221 □ TMG110EC2 □ CLSTERPRO2 □ UPS 221 □ TMG110EC2 □ TMG110EC2 □ UPS 221 □ TMG110EC2 □ UPS 221 □ TMG110EC2 □ TMG110EC2 □ UPS 221 □ TMG110EC2 □ TMG1	IP address 該規 172.16.1255 172.16.199 172.16.1.90 255.255.255 172.16.1.20 172.16.120 172.16.1.91 172.16.1.92 172.16.1.255 172.16.1.255 172.16.1.261 172.16.1.265 172.16.1.21 172.16.1.93 172.16.1.93 172.16.1.94	月 状態 正業ON 設定後、 ツリーが	■ inM 変動範囲M 104 102~105 ここにグループの 作成されます。
AC Management Console - EX (ル(E) 編集(E) 表示(V) / 日 (2) (部) (部) (部) (部) (* 1) (2) (部) (部) (* 1) (2) (* 1)	SMPRO/AC Enterprise NJ-7 (世) 名称 のララスタ UPS1 TMG140HA CLSTERPRO UPS2 TMG110EC1 TMG110EC2 UPS 221 TMG110EC4 TMG110EC4 TMG110EC4	IP address 該知 172.16.1.255 172.16.1.99 172.16.1.90 255.255.255 172.16.1.91 172.16.1.91 172.16.1.91 172.16.1.92 172.16.1.225 172.16.1.255 172.16.1.221 172.16.1.221 172.16.1.93 172.16.1.94	用 (状態 設定後、 ツリーが	■ inM 変動範囲M 104 102~105 ここにグループの 作成されます。
AC Management Console - E *(ル(F) 編集(E) 表示(W) * (L) (E) 編集(E) 表示(W) * (L) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E	SMPRO/AC Enterprise NU7*(日) 名称 〇 クラスタ UPS1 〒TMG140HA 〇 CLSTERPRO UPS2 ① TMG110EC1 ① TMG110EC2 〇 CLSTERPRO2 UPS 221 ① TMG110EC2 ① TMG110EC2 ① TMG110EC3 ① TMG110EC3	IP address 100 172.16.1.255 172.16.1.99 172.16.1.90 255.255.255 172.16.1.90 255.255.255 172.16.1.91 172.16.1.92 172.16.1.92 172.16.1.255 172.16.1.93 172.16.1.93 172.16.1.94 172.16.1.94	月 状態 正葉ON 設定後、 ツリーが	■ inM 変動範囲M 104 102~105 ここにグループの 作成されます。 ~
AC Management Console - EX (ル(F) 編集(E) 表示(W) / 副 副 回 ● 印 多 の の つうスタ 日 図 つうスタ 日 図 つうスタ 日 図 つうスタ 日 図 つうスタ 日 図 つうスタ 日 図 ごをまま置 日 図 制御端末 日 図 運動端末 日 図 電源装置 日 図 同の 日 図 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	SMPRO/AC Enterprise NJJ * ① 名称 ② クラスタ ③ クラスタ ③ UPS1 ③ TMG140HA ③ CLSTERPRO ③ UPS2 ③ TMG110EC1 ④ TMG110EC2 ③ CLSTERPRO2 ③ UPS 221 ④ TMG110EC2 ④ TMG110EC2 ③ TMG110EC2 ③ TMG110E23 ④ TMG110E23 ● TMG110E3 ● TMG110E3	IP address 該知 172.16.1255 172.16.199 172.16.1.90 255.255.255 172.16.1.92 172.16.192 172.16.1.92 172.16.1.92 2 172.16.1.255 172.16.1.92 172.16.1.93 172.16.1.93 172.16.1.93 172.16.1.94 172.16.1.94	用	■ inM 変動範囲M 104 102~105 ここにグループの 作成されます。 ~
AC Management Console - EX (小(E) 編集(E) 表示(W) () (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	SMPRO/AC Enterprise NJJ7℃(H)	IP address 該規則 172.16.1.255 172.16.1.99 172.16.1.90 255.255.255 172.16.1.91 172.16.1.91 172.16.1.92 172.16.1.92 172.16.1.221 172.16.1.221 172.16.1.93 172.16.1.94	用 (状態 設定後、 ツリーが	■ inM 変動範囲M 104 102~105 ここにグループの 作成されます。 ~
AC Management Console - E (ル(F) 編集(E) 表示(W) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	SMPRO/AC Enterprise NU7*(世) 名称 ① クラスタ ① UPS1 ① TMG110E01 ① TMG110E02 ① CLSTERPRO2 ① UPS221 ① TMG110E02 ① CLSTERPRO2 ① UPS 221 ① TMG110E03 ① TMG110E03	IP address itel 172.16.1.255 172.16.1.99 172.16.1.90 255.255.255 172.16.1.91 172.16.1.92 172.16.1.92 2172.16.1.255 172.16.1.92 172.16.1.93 172.16.1.93 172.16.1.94	R 状態 正式ON 設定後、 ツリーが	■ inM 変動範囲M 104 102~105 ここにグループの 作成されます。
AC Management Console - E (ル(F) 編集(E) 表示(W) (W) 編集(E) 表示(W) (W) クラスタ ・ (W) クリンタ ・ (SMPRO/AC Enterprise NJJ * (H) SAM □ 257.2¢ □ 257.2¢ □ UPS1 □ TMG110EC1 □ UPS2 □ CLSTERPRO2 □ UPS2 □ UPS2 □ CLSTERPRO2 □ UPS 221 □ TMG110EC2 □ CLSTERPRO2 □ UPS 221 □ TMG110EC5 □ TMG110E7 1 2 3 4	IP address 該規制 172.16.1255 172.16.1.99 172.16.1.90 255.255.255 172.16.1.20 172.16.1.220 172.16.1.92 172.16.1.92 172.16.1.21 172.16.1.255 172.16.1.93 172.16.1.93 172.16.1.94 172.16.1.94	用 状態 正式のN 設定後、 ツリーが	■ <u>inM</u> <u>変動範囲M</u> <u>104</u> <u>102~105</u> ここにグループの 作成されます。 ~
AC Management Console - E (小(F) 編集(E) 表示(W) (M) (F) 編集(E) 表示(W) (M) (F) (F) (F) (F) (F) (M) (F) (F) (M) (F) (F) (F) (M) (F) (M) (F) (F) (M) (F) (M	SMPRO/AC Enterprise NJJ * (H)	IP address 該用 17216.1255 172.16.199 172.16.190 255.255.255 172.16.191 172.16.191 172.16.192 172.16.125 172.16.125 172.16.124 172.16.193 172.16.193 172.16.1.94 172.16.194	用 【状態 記定後、 ツリーが	■ inM 変動範囲M 104 102~105 ここにグループの 作成されます。 ~
AC Management Console - E (小(F) 編集(E) 表示(W) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	MPRO/AC Enterprise NJJ *(H)	IP address ittel 172.16.1.255 172.16.1.99 172.16.1.90 255.255.255 172.16.1.91 172.16.1.92 172.16.1.92 172.16.1.255 172.16.1.93 172.16.1.93 172.16.1.94 172.16.1.94	R 【状態 正葉ON 設定後、 ツリーが	■ 「inM 変動範囲M 104 102~105 ここにグループの 作成されます。 ~

UL1046-602 856-126942-002-A (2) 共有ディスク用UPSとクラスタサーバ(連動端末)とUPSの組み合わせでの設定

共有ディスクとそれに電源を共有するUPS、クラスタサーバとそのクラスタサーバに電源 を共有するUPSの組み合わせのグループを追加します。

追加設定	×		
グループ名およびクラスタ構成における共有ディスク用のUI い。共有ディスク用UPS名は8文字まで有効です。 グループ名 CLSTERPRO2	PS名を入力して下さ		
共有ディスク用 UPS名(8文字まで有効です) COMMON1	_	構成するサーバのサーバタ IPアドレスと <i>そ</i> の	×
IPアドレス 172 16 1 222	ОК ++ури	アドレスをを入力して下さい。なおサーバネはゴビ 実IPで指定する事。 やフローティングIPIは入力しないでください。 iTERPRO3	波学まで、UPS名語
	クラスタサーバ名1 IPアドレス	TMG110EC3	🗖 Linux
	クラスタサーバ名2 IPアドレス	TMG110EC4	🗖 Linux
	クラスタサーバ名3 IPアドレス		🗖 Linux
AC Management Console - ESMPRO/AC Enterprise ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルフ(H) 	クラスタサーバ名4 IPアドレス		🗖 Linux
日代 前正秋の店 名称 日 26 かうスタ クラスタ 日 26 かうスタ UPS1 日 27 電源装置 町MG140HA 日 27 電源装置 町MG140HA 日 27 単純純素 町MG140HA 日 27 単純純素 町MG140HA 日 27 単純純素 町MG110EC1 日 26 単純純素 町MG110EC2 日 27 単純純素 CLSTERPRO 日 27 電源装置 UPS2 日 27 電源装置 UPS221 日 27 電源装置 UPS221 日 27 電源装置 TMG110EC3 日 28 単純端末 TMG110EC3	UPS名 IPアドレス 172:16:1.91 172:16:1.92 172:16:1.225 172:16:1.225 172:16:1.225 172:16:1.221 172:16:1.93 172:16:1.94	UPS221 172 16 1 221	 ОК
□ Hg 建動端未 □ Hg 運動装置 □ Hg 運動装置 □ Hg 運動装置 □ Hg 運動装置 □ Hg 運動装置 □ Hg 運動業置 □ Hg 運動業置			

3. 7 ESMPRO/AC Enterprise のアンインストール

- (1) 多機能UPSを使用して、WEB機能を使用していた場合、まず以下の作業によって環境の 削除を行って下さい。
 - (1-1) ESMPRO/AutomaticRunningController グループの環境設定アイコンを起動します。
 - (1-2)「接続用エイリアス名」エディットボックスにエイリアス名が記述されている場合は、バ ックスペース等で消した後、「設定」ボタンを選択して下さい。エイリアス名が何も記述 されていない場合は、そのまま(1-3)の操作を行って下さい。
 - (1-3)「閉じる」ボタンを選択して、メニューを終了します。

[注意]

WindowsNT4.0 SP1, SP2 の環境で WEB 機能セットアップして使用していた 場合、ESMPRO/AC Enterprise のアンインストールが失敗する事が有ります。 この場合には、システムを再起動し、ブラウザからアクセスをしない状態 でアンインストールを実行してください。

- (2) ESMPRO/AC Enterprise SNMP機能を使用していた場合、まず以下の作業によって環境の解除を行って下さい。(続けて ESMPRO/AutomaticRunningControllerもアンインストールする場合は、以下の操作は不要です。)
 - (2-1) ESMPRO/AutomaticRunningController グループの環境設定アイコンを起動します。
 - (2-2)「SNMP 機能を使用...」のチェックボックスがチェックされている場合は、チェックを外し てください。
 - (2-3)「閉じる」ボタンを選択して、メニューを終了します。
- (3) ラベルに『Express Server Startup CD-ROM Express5800/100シリーズ用#1(1/2)』と 書かれているCD-ROM媒体をCD-ROMドライブに挿入して下さい。
- (4) Express Server Startupを起動します。
 (起動手順については次のセットアップカードを参照して下さい)
 Express5800シリーズ
 Express Server Startup

(4) 「 ESMPRO/AC Enterprise 」アンインストールまでの手順

[Express Server Startup]から、【アンインストール】を選択すると次のダイアログボッ クスが表示されます。

アンインストール	×
アンインストールするソフトウェアを選択して下さい _製品名	
ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AutomaticRunningController	
バージョンノフーザセット数(ロロ刑系)	
バージョン3.6 1セット(UL1046-402) バージョン3.6 1セット(UL1046-402) バージョン3.6 1セット(UL1046-502)	
アンインストールするソフトウェア	<mark>℃K</mark>

- a) 「製品名」一覧から、「 ESMPRO/AC Enterprise 」を選択します。
- b) a) で選択した「製品名」のユーザセット数/バージョンが「バージョン/ユーザ セット数」に表示されます、「バージョン3.6(UL1046-602)」を選択して下さい。
- c) b)の選択が終わりますと、「アンインストールするソフトウェア」に「 ESMPRO/AC Enterpriseバージョン3.6 1セット(UL1046-602)」が表示されます。

ソフトウェアの選択が完了しましたら、「OK」ボタンを選んで下さい。

以降、KeyFDをセットしたドライブ名の入力をして頂きます。 (詳細については次のセットアップカードを参照して下さい) ・Express5800シリーズ Express Server Startup

すべての指定が完了すると、「ソフトウェア名 ESMPRO/AC Enterprise Ver3.6の KeyFDをドライブ X: にセットして下さい」と表示されます。 KeyFDをドライブ X:にセットして「OK」ボタンを選んで下さい。

「アンインストール中です...」というメッセージが表示され、アンインストールを開 始します。 (5) 「 ESMPRO/AC Enterprise 」アンインストールの終了状態表示

アンインストールが正常終了すると次のダイアログボックスが表示されます。

アンインストール	×
アンインストール結果	
_ 正常終了したソフトウェア一覧	
0000 : ESMPRO/AC Enterprise バージョン3.6 (UL1046-602)	
異常終了したソフトウェア一覧	
OK	

(6) Express Server Startup を終了して下さい。

3. 8 ESMPRO/AC Enterprise Client マルチサーバ構成データ編集 機能

クライアントにESMPRO/AC Enterprise Client マルチサーバ構成データ編集機能を導入する場合、以下のファイルを参照し、インストール/アンインストールを行ってください。

<u>ESMPRO/AC Enterpriseのインストールフォルダ</u>¥ECLSETUP¥README. TXT (デフォルトではC:¥AUTORC)

第4章 注意事項

ESMPRO/AC Enterprise のご使用にあたり、次の点にご注意ください。

4. 1 セットアップ関連

- ESMPRO/AC Enterprise Ver3.6 は、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.6 のオプ ション製品です。従って、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.6 のインストール を先に行って下さい。
- (2) WindowsXP に ESMPRO/AC Enterprise Ver3.6 をセットアップし、ワークグループとして 使用する場合は、WindowsXP の制限事項のため、設定内容により他サーバからの接続が 不可になってしまう場合があります。その場合、「フォルダオプション」の「表示」に ある[簡易ファイルの共有を使用する(推奨)]のチェックをはずしてください。
- (3) クラスタ環境において CLUSTERPRO と連携して電源管理・自動運転を行う場合、すべての サーバに ESMPRO/AutomaticRunningController と ESMPRO/AC Enterprise が必要となり ます。

4. 2 AMC機能関連

(1) マルチサーバ環境のシステムにおいて、制御端末のスケジュール ON/OFF に連動端末を 連動させる場合は、連動端末の自動運用条件に下記の設定を行ってください。(連動端末 が起動後、10分後に「OFF 成立」するための設定方法)

電源制御グループが複数存在するような構成で運用する場合には、グループ毎に一台のサ ーバにスケジュールを設定し、他のサーバへ以下の設定を行うことで、設定の簡略化が可 能です。 例えば図のような構成の場合では、以下のように各設定が必要です。

🙈 AC Management Console - ESMPRO/AC Enterprise 👘	
ファイル(E) 編集(E) 操作(S) 表示(V) ヘルプ(H)	
□-13 PJUブ1 □-13 PJUブ1 □-13 電源装置 □-13 電源装置 □-13 制御端末 □-13 連動端末 □-13 連動端末 □-13 運動端末 □-13 運動装置 □-13 運動装置 □-13 電源装置 □-13 単分 □-13 ■ □-13 単分 □-13 ■ □-13 = □-13 = □	<スケジュールを設定するサーバ> SERVER1 SERVER2 <「OFF 成立」を設定するサーバ> SERVER_A SERVER_B SERVER_C server_d
SERVER2 SERVER_C server_d	
│ ····································	

連動端末が起動後、10分後に「OFF 成立」するための設定方法

<連動端末が Windows の場合>

「指定サーバの設定」から ESMPRO/AC GUI を起動して連動端末に接続し、常時OFF条件を成立させる為に以下の設定を行ってください。

監視要因

L

「投入要因」: なし
 「切断要因」: LAN
 LAN切断監視要因:「LAN Manager」:チェックする

 「指定コンピュータのみ監視」
 「コンピュータ登録:未登録」
 「指定ユーザのみ監視」
 「エーザ登録:未登録」
 「TCP/IP」:チェックをはずす

オプション

「監視パラメータ」:「 LAN 切断監視時間:10分」

<連動端末が Linux の場合>

以下の操作はマルチサーバオプションをインストールしたサーバで行ってください。

※アップデート適用前(Ver3.04未満)と後(Ver3.04以上)では、変更するファイルまたはパス が異なりますので、 注意してください。

①以下の内容のシェルスクリプトを作成します。
 作成場所は任意です。
 (ここでは、ファイル名「/usr/local/AUTORC/makedown.sh」とします)

vi コマンドでファイルを新規作成し、以下の内容を記述してください。

----以下内容---#!/bin/bash
sleep 10m
echo "From-WbMC To-AC : ShutdownRequest" > /usr/local/AUTORC/WbMCShutdownRequest
echo "" >> /usr/local/AUTORC/WbMCShutdownRequest

----内容ここまで----

②作成したシェルスクリプトに実行権を与えます。(以下のコマンドを実行)

chmod 744 /usr/local/AUTORC/makedown.sh

③設定ファイルの修正

<アップデート適用前(Ver3.04 未満)>

vi /usr/local/AUTORC/esmarcsv.ini でファイルを開き、以下のパラメータを修正してください

StartJob の値を"1"に変更(0S 起動時に登録したジョブを起動する設定になる)

<アップデート適用後(Ver3.04以上)>

vi /usr/local/AUTORC/data/config.apc でファイルを開き、以下のパラメータを修正してください

UpJob の値を"1"に変更(0S 起動時に登録したジョブを起動する設定になる)

※WbMC で行う場合、「管理者」でログイン後、

- ・「サービス」→「ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver3.0*」(バージョンによって表示が異なります)
- 「ジョブ設定」の「電源投入時の起動ジョブ」を起動するに変更して「設定ボタン」を押下

④起動ジョブの登録

<アップデート適用前(Ver3.04 未満)>

vi /usr/local/AUTORC/acstartjob.apc でファイルを新規作成、以下を記述してください。

<アップデート適用後(Ver3.04 以上)>

vi /usr/local/AUTORC/data/upjob.apc でファイルを新規作成、以下を記述してください。

----以下内容----

/usr/local/AUTORC/makedown.sh

----内容ここまで----

最終行は改行して、ファイルを閉じてください。

※WbMCで行う場合、「管理者」でログイン後、

- ・「サービス」→「ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver3.0*」(バージョンによって表示が異なります)→「起動ジョブの登録...」
- 「電源投入時の起動ジョブ」の欄に「/usr/local/AUTORC/makedown.sh」を登録して「設定ボ タン」を押す

⑤システムの再起動

- 以上の設定を行うことで、Linux の連動端末は起動して 10 分後に電源切断の要因が成立します (AMC の状態表示が「OFF 成立」となる)。
- そして、同じ電源制御グループの全てのサーバで要因成立するとシャットダウンが開始します。

(2) AMC にて管理可能な装置台数の上限は以下の通りです。
 制御端末 : 3 台
 連動端末 : 3 2 台

	•	0	
UPS	:	3	5台

4. 3 多機能UPS WEB機能関連

多機能UPSを使用してWEB機能を使用している場合、以下の点にご注意ください。

- (1) ESMPRO/AC EnterpriseのWEB機能を使用する時は、
 ESMPRO/AutomaticRunningControllerグループの環境設定アイコンを起動し、環境設定を行って下さい。
- (2) IE3.0を使用して各ページのリンクをクリックすると、フレームが崩れることがあり ます。これは、リンクの文字上でマウスのボタンを押し、マウスポインタがリンクの 文字上から外れてからボタンを離すと発生します。この現象が発生したときには、ブ

UL1046-602 856-126942-002-A ラウザの「戻る」ボタンを選択してください。

- (3) クラスタシステム上で、WEB機能を使用することはできません。
- (4) WEB 機能を WindowsNT4. 0® SP1, SP2 の環境でセットアップしていた場合、ESMPRO/AC Enterprise のアンインストールが失敗する事が有ります。この場合には、システム 再起動後、一度もブラウザからのアクセスをしないでアンインストールを実行してく ださい。
- (5) SBS4.5 上で WEB 機能を使用する場合は、[管理ツール] -> [ドメイン ユーザーマネ ージャ]のメニューを起動して、インターネットゲストアカウント用に登録されてい るユーザ(既定値 IUSER_PRGSRV3) に対して、所属するグループに Administrators 権限を与える必要があります。
- (6) SBS4.5 上で WEB 機能を使用していた場合は、「3.7 ESMPRO/AC Enterprise のア ンインストール」の(1)の手順を行わず、次の作業を実施して下さい。
 - [Windows NT 4.0 Option Pack] -> [Microsoft Internet Information Server]
 ->[インターネット サービスマネージャ]のメニューを起動して、メニューに登録 されている ESMPRO/AC Enterprise のエイリアス名を削除する。
 - 2. エイリアス名の削除実施後、一度システムの再起動を行う。
- (7) Smart-UPS 相当無停電電源装置を使用した環境の場合、WEB 機能は使用できません。